



臺灣海報

第七號  
第八號

0230

台海報第七號

六月十二日迄ノ報告ハ已ニ前便ヲ以テ發送ニ及置及ニ付其後、  
狀況左ニ開陳仕候

六月十三日總督閣下及總督府諸僚台北ニ向ヒ祭程スヘキ豫定ナ  
リシモ總督閣下ニハ疾病ニ罹ラレタルヲ以テ明日ニ延引ス

運送船和歌浦丸報國丸栄城丸松山丸ノ四隻本日宇品港ニ向ヒ基  
隆ヲ出航ス

六月十四日午後一時總督閣下及諸僚台北ニ向ヒ基隆ヲ祭車ス途  
中汽車ノ故障アリシモ午後七時無事当台北府ニ着スルヲ得知リ  
台北停車場ニハ師團長殿下ヲ始メ当府駐在ノ師團將校總督府先  
發員台北縣職員等皆テ出迎ス又夕當府及附近紳商豪農等ハ水  
日新總督ノ着任ヲ賀スル為メ自ラ率先シテ旭日旗ヲ調製シ雨天  
ナルニモ條ラス停車場ニ來集ミテ出迎シ總督ノ乘車停車場ニ着

0231

スルマ一同三回ノ祝意ヲ表シ清國ノ最敬禮ヲ為セリ  
六月十五日大嵯嶽地方ノ統帶總兵余清勝ナルモノ本府ニ來リ總  
督閣下ニ謁シ自陳スル所口アラントス即チ大嶋陸軍少將等之ヲ  
訊問シ左ノ供書ヲ得タリ

總兵餘清勝ノ陳白覺書

明治廿八年六月十五日午後五時半台灣總督府内ニ於テ大嶋陸軍  
少將水野民政局長官前田海軍大佐安原海軍少佐列席ノ上總兵官  
余清勝ヲ訊問ノ際彼我ノ問答及ヒ同人ノ陳白ハ左ノ如シ

初ノ水野長官ヨリ台灣受授ニ関スル我告論文三篇ヲ示サレ戰  
争終局ノ結果ニヨリ台灣全嶋ヲ奉テ我版圖ニ歸セシ顛末ニ付  
キ曾テ聴ク所有リヤ否ヤヲ問ハレシニ彼レ答ヘテ曰ク小官大  
料嶽ニ在ル三年此間台北ニ來リシ一線カニ一回ニ過キス台灣  
ヲ奉テ貴國ニ割讓セシ一ハ側カニ之ヲ聞知セシモ唐巡撫ヨリ

0232

ハ右ニ関シ未タ一片ノ公報ニ接セズ故ニ詳細ヲ知ルニ由ナシ  
小官ハ只々命ニ従テ大料坎ニ屯シ生蕃ノ鎮撫ニ從事セシノミ  
事已ニ此ニ至ル小官ハ直チニ大料坎ノ地ニ去ルハシ獨リ我一  
身ニ関シテハ相当ノ處公有ランヲ乞フノミ

問 汝大料坎ニ在ルノ時帶フル所ノ兵數ハ幾何

答 五亮子金營ニ過キス尽ク本地ノ兵ニシテ外ニ湖南ヨリ率  
ヒ來リシ親兵五六十人有ルノミ

問 五營ノ兵及ヒ其兵器並ニ公文書類ハ如何ニ始末セシヤ

答 營兵ハ全ク解散シ各其家ニ歸レリ兵器ノ如キモ各自ニ携  
ヘ去リ公文書類ハ一モ存スル者無シ

問 汝大料坎ニ至リ旧部ノ兵員ニ諭シ兵器等ヲ收拾スルノ手  
段ハ無キヤ

答 到底能ハス貴官ヨリ告示ヲ出サレ之ヲ收固スルノ外別法

典シト思慮ス

問 総兵劉永福ノ本嶋南部ニ屯スルヲ知ルヤ

答 劉ノ名ハ曾テ之ヲ聴ク未タ其人ヲ知ラス本嶋南部ニ在ル

云云ノ一咫クハ訛傳ナラン

水野長官前々台湾巡撫唐景崧カ來セシ台湾獨立ニ関スル告示文

ヲ出シ汝此事ヲ知ルヤ否ヤヲ問ハレ

彼答テ曰ク毫モ之ニ預リ知ラス皇上已ニ台湾ヲ奉テ貴國ニ獻

ス臣子豈ニ背違ス可ケンヤ想フニ此ノ告諭文ノ如キモ基隆

淡水等沿海ノ互市場ニ貼付セシ者ナラン内地ニ於テハ曾テ

見ル所無シ

我曰フ汝國ニ帰ラント欲セハ我船ヲ以テ福州ニ送ルモ可ナリ

彼曰ク敢テ当ラス官大將戰ニ赴キ家眷ヲ率ヒ而シテ浚帰程ニ

上ラントス路上ノ平安ヲ保ツカ為ノ一紙ノ護照ヲ得ハ幸ナリ沿

0234

道貴國ノ兵ヲ派シ護送云々ノ丁盛意感激ニ堪ヘスト虽モ他  
人ノ情ヲ知ラサル者誤リ認テ屬ト爲シ以テ貴國ニ押送セシ  
ル者ト爲サレ如此レハ稍ヤ体面ノ顧ミル可キアリ故ニ護  
シテ之ヲ辞ス

我日フ汝ノ親兵六十余人ハ尽ク率ヒ帰ルヘシ

答曰フ敬諾

是ニ於テ一紙ノ旅券ヲ與ヘ其ノ大料坂ニ赴クヲ許可シタリ  
又夕歸順ノ民ヨリ左ノ如キ姓名ノ上申ヲナセリ依テ実跡ノ有  
無ヲ調査中ナリ

敏順ノ民上申セサルヲ得サル事アリ豈敵ヲ申明セサラン現今板  
橋頭街ニ在ル林維源ハ家資數千万金田園八十万租兵勇二万ヲ  
有シ総統劉順治ノ管帶黃老虎巡簡成德等大營ヲ扎シテ死戰  
シ攝接保及大料坂等租館ニ駐札シ日本兵ノ竹暫ニ至ルヲ逸テ

0235

後ロヨリ發セントス今先右三人ノ罪ヲ懲弁セスンハ後來日本ノ兄弟總テ其害ヲ受ケン外面仮リニ悅服シ心中霸國ヲ存ス兵多ク糧凡リ器械火薬余リ有リ尽ク板橋ニ撤遣ス若シ此事ヲ申明セサレハ百姓モ亦其害ヲ受ク昏ハ兵勇ヲ用ヒテ途ヲ截千人ヲ殺シ夜ハ火ヲ用ヒテ攻鎗ス村民何ソ以テ生ヲ聊レシ地方何ヲ以テ安堵ナラン伏乞フ大日本總督閣下順民ノ為メニ謀リテ三人ヲ懲弁セラレンシ庶民幸甚ナリ而テ地方安堵セシ感恩ノ至ニ不堪

又タ桃子園ニ前進セシ本郷陸軍大尉ヨリ左ノ報告アリ尚ホ新竹方面ニハ夥多ノ清兵アリテ我ニ抗スル一判然タリ而ノ土民モ亦頗ル敵意ヲ有スルモノト如シ

一、只今第二聯隊ヨリ出セル進歩哨(中隊)へ出セル我カ最終ノ進歩哨ヨリ約一里ナル頭亭溪ニ配置セシ退却シ來リ報告シテ

0236

曰ク

進歩哨ハ昨十四日午後二時頃所屬中隊頭亭湊通過ノ際配置  
セラレシニ午後三時半頃中隊ノ前進セシ方向ニ哨リ若干ノ  
銃声ヲ聞ク(中隊ト敵トノ衝突ナルヘシ其後銃声止ニ暫クス  
ルヤ(午後四時頃)附近ノ村落ヨリ兵装シクル者土民ト混合シ  
三四百人四方ヨリ進歩哨ヲ襲撃シ來レリ依テ苦戦ノ後一方  
面ヲ突破シ(我進歩哨ノ方向ニ退却スルヲ得サリシ)迂路ヲ經  
非常ナル困難ノ后漸ク只今第三中隊ノ処ニ來ルト

ニ右ノ状況ナルヲ以テ中隊ハ強大ノ斥候ヲ第二聯隊ト連絡ヲ  
通スル為ノ中歴方向ニ派遣ス此報告ノ如何ニヨリ中歴方向  
ニ前進セシ筈ナリ

六月十六日宜蘭縣知府陳某ナルモノ來府ス之ヲ訊問スルニ彼レ  
ノ自陳スル処左ノ如シ又々彼ハ台灣ニ來任セシ以來既ニ五ケ年

0237

余ヲ經過シ管テ台灣府等ニテ風土民情ヨリ行政上ノ事ニ到ル  
迄万事通曉スルヲ以テ幕友ノ名義ヲ以テ暫ク民政廳ニ聘僱ス

宜蘭ノ知府陳某ヨリ聞得タル狀況

一宜蘭ハ故ト三營ノ兵ヲ有シ其一營ハ先日基隆ノ戰爭ニ預リ敗  
類ノ右宜蘭ニ歸ラス依テ目下宜蘭ニハ只二營兵アルノミ之レ  
トテモ纏リ在ルニ非ラス只宜蘭蘇澳附近ニ散在シテ匪業ヲ為  
スノミ故ニ宜蘭ハ目下無政府ノ有様ナリ

一蘇澳ニハ砲台ナシ只新築ノ土壘ヲ存シアリ但シ備砲ナシ蘇澳  
ハ上陸ニ便ナリ此ニテ漁舟三四十艘ヲ雇ヒ得ヘシ

一宜蘭ハ人口二万人位ノ市街ニシテ平常ナレハ随分多クノ兵ヲ  
給養シ得ルナラン然レモ目下生兵ノ槍掠ニ罹リアルヲ以テ食  
物ヲ得ルル最モ難シ

一宜蘭ヨリ台北ニ至ル道路ハ間道ニシテ其長サ百廿浬二日ニテ

連スルヲ得ル此ノ道路沿道村落ノ名左ノ如シ

台地

祖師公岑

十二清里

深坑街

十清里

湖栴

四十清里

頭城

三十清里

宜蘭

三十清里

馬匹ハ通過スル能ハス

一基隆ヨリ宜蘭ニ至ル道路ノ中三貂大嶺ヲ経ルモノハ間道ニシテ甚タ惡シク三貂大嶺ヲ経ヌシテ同地ニ通スル本道アリ其長廿百廿清里ニシテ双溪ハ正サニ其中央ニ在リ  
又々淡水行政署ノ福嶋歩兵大佐ヨリ左ノ電報ヲ受領セリ  
安平ノ形勢益切迫外國人ノ生命頗ル危険ナルニヨリ淡水疏治

0239

ノ英國軍艦ロツドフレスト号ハ急命ヲ受テ今朝既ニ安平ニ向  
ト出帆セリト

昨日薩ノ基隆ニ入港ス当府陸軍局砲兵部長豊嶋中佐民政局長  
残部負等当府ニ來ル

本日威海九基隆ニ入港ス

六月十七日日本日ヲ以テ總督府砲政ノ開式ヲ行フ依テソノ祝典ヲ  
奉行スル爲メ一時常備艦隊ノ基隆ニアルモノヲ淡水ニ集合シ午  
前八時ヲ以テ滿艦飾ヲナシ正午廿一砲ノ皇禮砲ヲ發ス午後二時  
陸軍ニ於テ百一砲ノ祝砲ヲ發シ三時ヨリ閱兵及ハ列式ヲ当府城  
内ノ市街ニ於テ施行シ五時海陸ノ將校各國駐在官及土地ノ縉紳  
外國居留人等凡ソ四百余名ヲ當總督府ニ招待シ立食ヲ饗應ス支  
那ノヨリ獻納ノ余興等アリテ頗ル盛會ナリシ  
本日仙台北基隆港ニ來着ス

0240

曩ニ宜蘭縣知府ノ報告ニ基キ本日宜蘭ニ通スル道路偵察ノ為メ  
命令ヲ混成技隊ト近衛師團ニ出シ台北及基隆ノ兩地方ヨリ各同  
地ニ通スル道路ノ偵察ニ從事セシム  
混成技隊長ニ左ノ命令ヲ與フ

總督府命令 六月十七日午前 時台北府ニ於テ

- 一、宜蘭附近ニ在リシ敵兵ハ散乱シ掠奪ヲ逞ス蘆澳附近ニハ落  
人モ亦出沒シ大ニ良民ヲ苦ム
- 二、予ハ後來宜蘭ニ民政支廳ヲ設置スルノ豫定ナリ
- 三、貴官ハ後備歩兵第一聯隊ノ一大隊ニ中隊ヲ基隆ヨリ艦隊所  
用ノ運送船ニ塔載シ軍艦ノ誘導ヲ受ケ可成速ニ宜蘭ニ派遣  
シ該地ヲ鎮壓守備セシムヘシ
- 四、混成技隊ハ右派遣大隊ノ為メ糧食凡ニケ月分ヲ準備シ該隊  
ト共ニ運送セシムヘシ但乘船及糧食積込ニ關スル詳細ハ常

0241

備艦隊司令長官ト協議スベシ

五基隆ヨリ宜蘭ニ通スル道路ハ三貂大嶺ヲ經ルモノ、外尚一ノ本街道アリト云フ故ニ貴官ハ可成速ニ此道路ヲ偵察セシメ略圖ヲ添ヘテ報告スヘシ

又台北宜蘭間(租師公嶺深坑街桐榔頭城ヲ至)ノ道路ハ米ル二十五日混成枝隊ハ宜蘭ヨリ進衛師團ハ台北ヨリ道路偵察ヲ出シ途中出會セシメ相互ノ連絡ヲ通シ罔面ヲ添ヘテ其結果ヲ報告スヘシ

台湾總督子爵樺山資紀

混成枝隊司令官比志嶋義輝殿

又夕師團長ニ進衛第二次輸送隊ニ關スル左ノ訓令ヲ與フ

台湾總督府訓令

六月十七日午前九時  
於台北

一、軍艦秋津洲ノ偵察ノ結果ニ依レハ台南並ニ鳳山附近ニハ尚

團結シタル故アリテ我ニ抵抗ヲ謀ルモノ、如シ又タ右偵察ニヨレハ台南鳳山附近ニニヶ所ノ上陸点アリ其一ハ台南ノ南方楊仔頭ノ西方ニシテ他ノ一ハ鳳山ノ東南枋寮トス

二、予ハ近衛第二次輸送部隊ヲ南方ニ送り先ツ台南鳳山附近ヲ占領セシメ近衛第一次輸送部隊ヲ以テ台北附近ニ留メ台湾北部ノ占領ヲ確實ニセントス

三、近衛師團長ハ常備艦隊司令長官ト核カシ第二次輸送部隊ノ基隆ニ集合シタル後之ヲ台南鳳山附近ニ上陸セシメ該地方ヲ占領シ其附近ヲ鎮壓スヘシ

又タ近衛第貳輸送部隊ヲ現在ノ休勢ニアラシメ且ツ新竹ニ至ル迄ノ鉄道並ニ通信線ヲ確實ニ保持セシムヘシ

第一次輸送部隊中台湾南部ニ必要ナル者ハ該地ニ廻航シ又ク第二次輸送部隊中ニ必要ナルモノハ運送セサル等通

0243

頁ニ區別スヘシ

台湾總督子爵樺山資紀

近衛師團長能久親王殿

又大島艦長コリ左ノ報告アリ

台湾嶋西岸上陸点偵察報告

北八年六月十三日上陸点偵察ノ為ノ午前六時馬公港ヲ奔ルニ午  
 后二時四十六分安平沖ニ達シ陸岸ヲ巨凡七十米突ノ所ニ投錨  
 ス時英軍艦一隻英商船二隻左ノ團ノ如ク碇泊シ居レリ陸兵ハ  
 所々ニ旗(青地ニ赤)ヲ立テアレピシツオルトニハ俄カニ數多ノ  
 人員ノ集合スルヲ見ル三時十分アンボンフオルトヨリ砲撃ヲ  
 受ク其第一彈第二彈ハ本艦ヲ越ヘ二百米突ノ所ニ落テ本艦之  
 ニ應セス直チニ投錨左舷ニ回頭ス此間第三彈四彈ハ本艦ニ達  
 セザル四百米突ノ所ニ落下シ其跳彈數米突ノ高サヲ以テ本艦

之越第五第六洋水艦ヲ越シ望洋后部ヲ見真実ノ所ニ墜下シ其跳洋右舷側  
ヲ僅カニ巨リテ通過セリ此ノ時水艦ハ英艦ト誤砲台トノ一線  
内ニ入りタルヲ以テ彼レ砲撃ヲ停止セリ茲ニ於テ尚沖合ニ出  
テ打狗ニ向フ午後五時五十分打狗沖カラセンハツト東四  
哩ニ望ム所ニ於テ全砲台ヨリ一砲ノ砲撃ヲ受ケ然レドモ其彈  
ハ半ハニモ達セスシテ墜落セリ全夜打狗沖ニ投錨翌十四日午前四  
時出艦婦孺偵察ヲ為サントスレバ南風強吹シ且ツ飲水欠乏  
ノ患アリシヲ以テ偵察ヲ止メ淡水港ニ向フ翌十五日午前十時  
淡水沖ニ於テ艦隊ニ合シ列中ニ入り午後一時五十分淡水ニ  
投錨

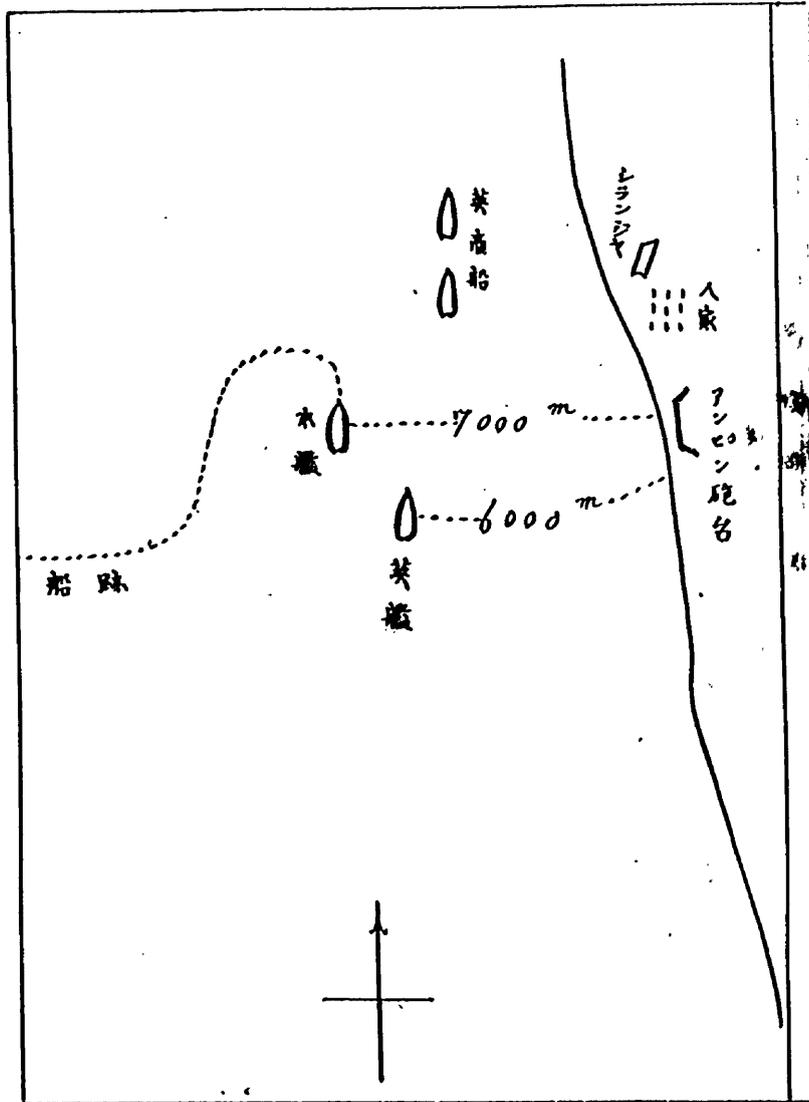
右報告任也

明治廿八年六月十七日

大陽艦長 迎 敦忠

常備艦隊司令官 官有地 呂之允 殿

0245



0246

六月十八日有地常備艦隊司令長官ニ左ノ命令ヲ其ツ

台灣命第十八号

命令

明治廿八年六月十八日午前八時  
於台北府

一、宜蘭地方ニ於テル清兵ハ既ニ散シテ掠奪ヲ逞スルモノト知

シ依テ陸軍ノ一部ヲ派遣シ之ヲ鎮壓セントス

二、貴官ハ先ツ麾下ノ軍艦八重山ヲシテ該地ノ沿岸ヲ偵察セシ

メ次テ基隆港ニ於テ後備步兵第一聯隊ノ一大隊(三中隊)及ヒ

之カ糧食ヲ海軍運送船河野浦丸ニ搭載シ軍艦八重山ヲシテ

護送セシメ可成速カニ宜蘭地方ノ沿岸ニ上陸セシムヘシ

台灣總督子爵樺山資紀

常備艦隊司令長官有地品之允殿

本島現時ノ状況ヲ觀察スルニ最ニ我軍基隆ヲ攻略シテヨリ台灣

0247

北部ノ士民等ハ皆我軍ノ武勇ニ恐レ基隆ノ没落ト共ニ台北淡水ノ敵兵モ皆ナ潰散シ或ハ本國ニ或ハ南方ニ奔竄シ匪徒ハ此間ニ乘シテ掠奪ヲ恣ニシ頗ル良民ヲ苦メ而シテ良民モ亦タ我軍ノ紀律如何ヲ知ラサルヲ以テ忪心危懼ノ念ヲ生シ人心恟々アリシモ爾來我軍前進スルト共ニソノ軍容ノ整肅ニシテ秋毫無犯ス処口ナク且ツ敗兵等ヲ支那本土ニ送還セシトヲ以テ北部一帶ハ現今稍鎮靜ニ帰シ良民皆我施政ノ下ニ悦服スト至テ新竹以南ニ至テハ人氣全ク北部ニ反シ土民ハ兵士ニ結合シテ頗ル頑強ノ抵抗ヲナサントスルモノ、如ク又安平打狗等ニ於テ我軍艦ニ砲撃ヲ加フル等向後幾多ノ戰鬪ヲ經ルニ非サレバ到底之ヲ征服スル能ハサルヘシ故ニ当總督府ノ意圖ハ第ニ次ノ近衛師團ヲシテ南部枋寮地方カ若クハ安平打狗ノ沿岸ニ揚陸セシメ先ツ台南鳳山等ヲ占領セシメ又タ北部ヨリ漸ク遂フテ前進シ南北聯絡ヲ待テ始

0248

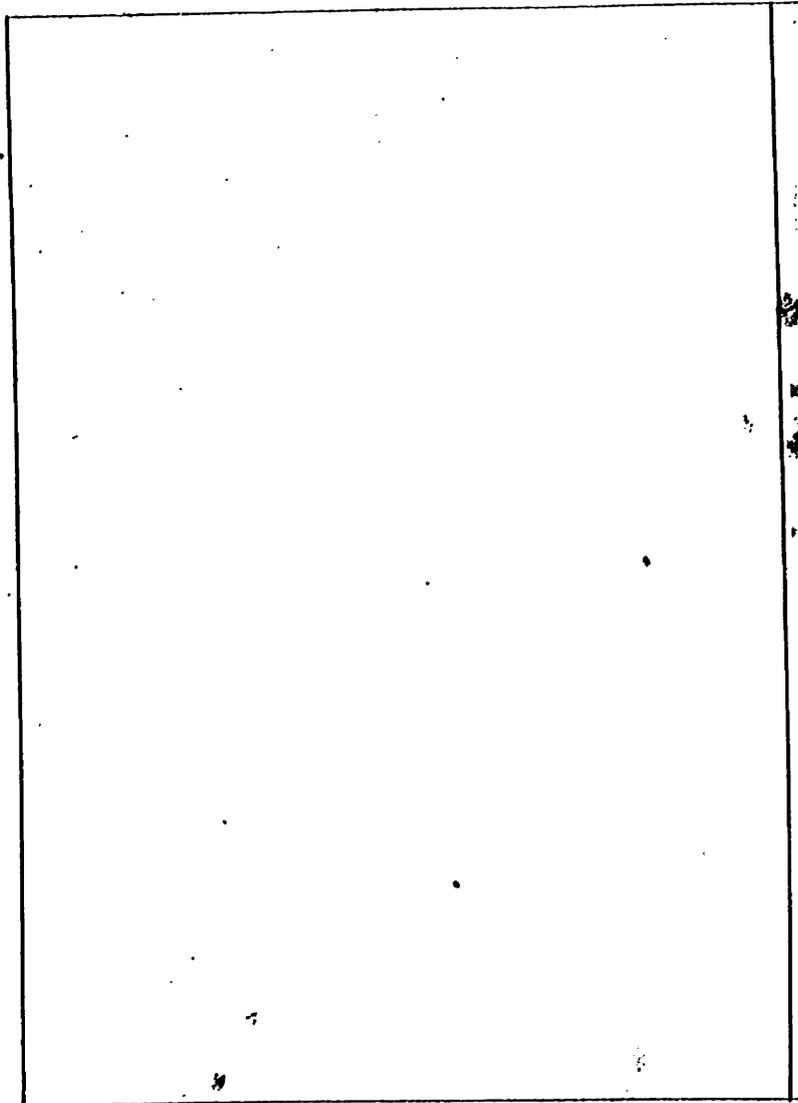
ノテ本島全部ヲ鎮定セントスル豫定ニ技  
現時既ニ南西風ノ季節トナリ第二次近衛師團ノ上陸ハ幾多ノ困  
難ヲ重スル一多カルベシ  
右報告候也

明治廿八年六月十九日

角田海軍局長官心得

伊東海軍参謀官殿

0249



0250

名海報第八號

六月十八日迄ノ報告ハ既ニ前便ヲ以テ發送ニ及置及ニ付其後ノ  
狀況ニ開陳仕哉

六月十九日一時淡水ニ集合セシ艦隊ハ總テ基隆港ニ集合セリ又  
タ千代田ハ十八日午後七時兵港ニ向ヒ出艦セル旨有地艦隊司令  
長官ヨリ報告アリ

台北及梹子園ニ兵站司令部ヲ開設ス又タ中歴迄電信全通ス  
新竹附近ニハ尚ホ敵兵ノ抵抗ヲ逞ツスルモノアルヲ以テ師團長  
ハ左ノ訓令ヲ出セリ

訓令

六月十八日午後一時於台北  
師團司令部

一、軍艦秋津洲ノ偵察ニ依レハ台南並ニ鳳山附近ニハ尚團結シ  
タル敵兵アリテ我ニ抵抗ヲ謀ルモノ、如シ我偵察隊ノ報告  
ニ依レハ兵力未詳ノ敵兵新竹縣ニ在ルモノ、如シ且ツ大湖

口附近ニハ多數ノ土兵出發シテ偵察隊進路ヲ遮リ或ハ進歩  
 哨ヲ襲撃セリ技隊背後ノ交通鑛道電信及糧秣集積所等擁護  
 ノ為メ第一聯隊第三中隊及進歩哨ヲ備フ其第三中隊ハ月下  
 中歴ニ又進歩哨ハ台北及中歴間ニ配布シ在ル等ナリ

二、貴官ハ一技隊ヲ率ヒ新竹縣ヲ占領シ台北ヨリ新竹縣ニ通ス  
 ル鑛道并ニ電信線ヲ確實ニ保持シ且ツ可成速ク台灣府ニ通  
 スル道路ヲ偵察セシムヘシ

三、技隊ノ糧秣補給ハ將來鉄道ヲ利用スル計畫ナレハ貴官ハ可  
 成地方ノ物資ニ拠ルヲ勉ムヘシ但シ出來ニ當テハ携帶口  
 糧ハ定規ノ外精米一日外ヲ携行シ馬匹モ亦々總テ各馬ニ二  
 日外ヲ携行セシムヘシ

支隊編制

司令官 陸軍歩兵大佐坂井重彦第二聯隊長

歩兵第二聯隊(第二大隊木隊并二三中隊欠)

騎兵一小隊

野戰砲兵一中隊(西門編制)

機關砲第四隊(西門編制)

衛生隊羊都

第一糧食糧科

近衛師團長能久親王

台湾及澎湖嶋海岸守備ニ充ツヘキ要塞砲兵隊ノ編成ヲ定ムル材  
料ニ供スル爲メ砲台ノ略圖ヲ調査シ陸軍大臣ニ報告スヘキ訓令  
(六月七日附アリ又夕之ニ粟スル陸軍技師立石忠興外八名ヲ当府ニ派  
遣シアリタリ)

六月廿日 福嶋大佐ヨリ左ノ電報ヲ受領ス 六月廿日午前六時四十分

0253

今日支那ヨリ三艘ヲ獲ヒ敗兵六拾人ヲ温州ニ百九拾八人  
 ヲ福建地方ニ向ケ送り返セリ是レニテ先ツ大掃除ヲ終レリ  
 本日羽常備艦隊參謀長ヨリ左ノ電報ヲ受領ス 六月廿五日午前十時八分發  
十時三十分  
 八重山ハ偵察ノ為メ大嶋ハ澎湖嶋ニ向ヒ本朝出艦セリ八重山  
 ハ本夕帰港ノ筈ナリ又河野浦丸ハ明朝出港セシムル豫定ナリ  
 右軍艦大嶋ハ澎湖嶋警備ノ任務ヲ有スルヲ以テ再ヒ任地ニ帰航  
 セシモノナリ又八重山ハ宜蘭附近上陸点偵察ノ為メ同地方ニ廻  
 航シ任務ヲ終リ次第本日中ニ基隆ニ帰港スル豫定ナリ  
 六月廿一日早朝軍艦八重山河野浦丸ヲ護衛シテ宜蘭地方ニ向ヒ  
 基隆ヲ援鑄ス此便ヲ以テ宜蘭民政支廳長河野圭一郎以下廿一名  
 ヲ同地ニ派遣ス  
 中廢ヨリノ電報ニヨレハ新車附近ニハ約四營ノ敵兵アルモノ、  
 如シ枝隊ハ午前五時中廢ヲ奪シ大湖口ニ前進セリト

0254

伊藤名灣事務局總裁ヨリ左ノ電報ヲ受領ス

左ノ通り英國公使ヨリ通知アリタルニヨリ我政府ニ於テハ成  
ルバク速ニ黑旗兵追討ノ手續キヲ回答セルニ付テハ閣下ハ成  
ルハク速ニ安平鎮ニ出兵セシメラレタシ

英國公使ヨリ通知安平鎮ニアル英國軍艦「スバンタン」ヨリ六月  
十五日附東京英國公使へ(發送)ノ電報ニ(形勢)甚危険ナリ  
黑旗兵ノ將官ハ五千ノ兵ヲ卒々我居留地ノ警備兵ノ引揚ヲ要  
求セリ英國軍艦「トーン」ハ入港目下増兵上陸中ナリ日本政府  
ニテハ之ニ對シ如何ナル手段ヲ取ラル、

又タ在淡水ナル鳴村書記官ヨリ左ノ電報アリ

英國領事ニ面會セシニ厦門ニアル英艦「トット」アレスト艦長ヨ  
リ電報アリ安平ニアル英國領事ハ劉永福ヨリ手紙ヲ受取レリ  
外國人立退キヲ命セリ若シ立退カサレハ処死スト云ヘリ故ニ

同地ハ大ニ騷ガリ英國水兵百五十人ニテハ不足ナリ日本兵ハ  
何時頃安平ニ來ルヤト問々來レリ如何返答スヘキヤトノ問アリ  
リシ故小官ハ凡ソ十日間ノ中ニハ日本兵彼地ニ向ト出來ト聞  
ケリト答置ケリ

依テ伊東台灣事務總裁ニ左ノ回答ヲ返電セリ

近衛第二次輸送全部到着ノ上本月末艦隊ト共ニ安平沿岸ニ上  
陸セシメ台南府攻撃ノ豫定ナリ

午後七時常備艦隊司令長官ニ左ノ命令ヲ發セリ

台海命令第十九号

命令 明治廿八年六月廿一日午後七時於台北

一軍艦秋津洲及大島ノ偵察ニヨレハ本島南部ニ於テ尚ホ我ニ  
抵抗ヲ試ムルモノアリ依テ近衛第二次輸送部隊ヲシテ該方  
面ヲ鎮壓セシメントス

0256

二、貴官ハ師團長ト協議シ台南ノ沿岸ニ於ケル上陸点ノ揆定及上陸ヲ圖シテ出來得ル限り安全ノ方法ヲ設ケ我目的ヲ達スルコトヲ勉ムヘシ

三、貴官ハ近衛第ニ次輸送部隊ノ基隆港ニ到着スルヲ俟テ艦隊ト共ニ一時澎湖嶋ニ集合シ天候ヲ測ツテ上陸点ニ導キ專ラ揚陸ヲ援助スヘシ

四、陸上作戰ノ状況ニヨリ艦隊ハ沿岸ニ於ケル敵兵ヲ砲撃シ若クハ牽制シテ陸軍ニ協力スヘシ

五、天候ノ非常ナル場合ニ於テハ各輸送艇ヨシテ一時平穩ノ地ニ避ケシムヘシ

台湾總督子爵樺山資紀

常備艦隊司令長官有地呂之允殿

又々新竹方面ニ派遣セシ緒方參謀及大井參謀ヨリ左ノ電報ヲ告

ヲ受領セリ

電報譯

六月廿一日 午後六時二十分發  
六月廿一日 午後七時四十分着

搜索騎兵ハ今朝揚梅厩西方ニテ敵兵ト衝突シ爾來敵兵ハ枝隊  
進路ノ兩側山上諸所ニ百名宛アリ我カ進路ヲ遮リ枝隊ハ戰鬪  
シツ、正午頃大湖口西南高地ニ露營シ明廿二日新竹縣ハ侵入  
スル計畫ナレバ新竹附近ノ敵狀ハ今搜索中ニシテ詳ナラスホ  
日ノ戰鬪我傷者六名敵ノ死傷詳ナラス又我ニ對セシ敵兵ハ純粹  
ノ台灣兵ニシテ旗ニ台灣義民ノ文字アリ給養ノ數ハ今日迄差  
支ヘナシ甘后ノ守備兵桃仔園中厝頭亭溪ノ三所ニ置ケリ

枚タイコユウ

緒方參謀

藪島大佐

電報譯

六月廿一日 午後七時發  
六月廿一日 午後十時着

0258

多北

大島少將殿

於大湖口

大井大尉

本日午前六時騎兵偵察小隊及其後援トシテ歩兵一小隊ハ揚梅堰  
ヲ奪シ前進シ敵ハ崩壊ノ北方高地ニ隠レ我ヲ射撃セリ尔後枝隊  
ノ前衛到着シ枝隊ハ進路ノ左右ニ在ル高地ニ小部隊ヲ派遣シ敵  
ヲ聚逐シナカラ前進セリ此間我砲兵ハ二回陣地ヲ占メ砲撃ヲ以  
テ敵ヲ散乱セシメ大ニ枝隊ノ前進ヲ容易ナラシメタリ  
枝隊ハ午后二時頃大湖口ニ到着シ風山溪ニキビ(騎兵カ)一中隊ヲ  
派遣シ枝隊ノ本隊ヲ以テ大湖口ノ南方ニ露營ス明日ハ可成直  
路ヲ取り新竹ニ向ヒ前進セントス  
捕虜ノ軍服ニ依リ見ルニ敵ハ誠字營護勇ナリ又分捕セシ旗ニ台湾  
義兵ト記セリ察スルニ敵兵ハ此附近ノ義勇兵ニ相違ナシ本日  
ノ敵ハ凡ソ二百名モアリシナラレ我ニ負傷者十名ハカリアリ

0259

目下大湖口北方民家ニ籠リタル敵兵四十名ヲ砲兵小隊ト拵  
兵二小隊ヲ以テ攻撃中ナリ間モナク我手ニ入ルナラン新竹ニ  
於ケル敵情ハ未タ知ルニ由ナシ  
敵ノ有セシ小銃ニシヤスホシ銃アリ

六月二十二日在杣仔園松原陸軍少佐ヨリ左ノ電報アリ

第二聯隊二等軍曹渡辺忠吉兵卒二十名ヲ卒ヒ大湖口ニ向ツテ  
前進中中歴ト頭亭濱ノ間ニ於テ百余名ノ敵襲ニ逢ヒ約三十人  
間敵閉ノ後該軍曹ハ戦死ス引続キ四十名余ノ敵中歴兵站支部  
ヲ襲フ守備兵之ヲ撃退セリ

縦列監視負ノ半數ヲ中歴ニ送リタリ

大湖口中歴間ノ電線不通トナル

又有地常備艦隊司令長官ヨリ左ノ電報アリ

八重山ハ敗兵七十七名ヲ搭載シタル運送船河野浦ヲ卒ヒ帰

0260

航セリ敗兵ハ只今混成枝隊司令部へ引渡シ中尤モ敗兵引渡方  
ノ件ハ岩崎大隊長ヨリ枝隊司令部へ引渡方依頼越セシナリ  
宜蘭方面ニ於ケル状況ニ関シテハ未タ報告ニ接セサルヲ以テ其  
詳細ヲ知ル能ハスト雖モ既ニ敗兵ヲ送還セルヨリ考フレハ我陸  
軍ハ熱事上陸ヲ終リシナラン又混成枝隊司令ヨリ右敗兵處分ニ  
付キ総督へ伺出タルニヨリ七日分ノ糧食ヲ積込ニ支那「ジャン」  
ニ乗組マセ福建地方へ送還スベキ旨ヲ指令アリタリ  
右報告仕候也

明治廿八年六月廿三日

伊東海軍々令部長殿

角田海軍局長官心得

0261